

ロザリオの祈りの黙想 — 福者幼きイエスのマリー=ユジェーヌ神父と共に

祈り: 福者幼きイエスのマリー=ユジェーヌ神父

編・訳: 中山真里 (ノートルダム・ド・ヴィ会員)

\*\*\*はじめに\*\*\*

このマリー=ユジェーヌ神父のロザリオの祈りの黙想は、10年以上前に中山さんが編訳したものです。それが幾つかの教会や教会のグループにおいて使われるようになり、現在に至っています。

今回 PDF にてお配りするにあたり、玄義の表現を見直し、聖書箇所も正確に記しました。(引用: 『聖書新共同訳 旧約聖書続編つき』 日本聖書協会発行)

ロザリオの祈りの唱え方は、女子パウロ会の公式サイト Laudate や、聖イグナチオ教会信仰入門講座のサイト等をご参考にしてください。(Y.Y.)

\*\*\*\*\* 光の神秘 \*\*\*\*\*

### 第1の玄義 イエスの洗礼

私は、霊が鳩のように天から降って、この方の上にとどまるのを見た。(ヨハネ1・32)

人間キリストの全ての行為は、神の霊に導かれたものでした。わたしたちキリスト者も聖霊に導かれてはじめて「完全なもの」となるのです。

完全な神の子となるために、聖霊の働きに身を委ねましょう。

### 第2の玄義 カナでの婚礼

三日目に、ガリラヤのカナで婚礼があって、イエスの母がそこにいた。イエスとその弟子たちも婚礼に招かれた。ぶどう酒がなくなってしまったとき、母がイエスに、「ぶどう酒がありません」と言った。イエスは母に言われた。「女よ、私とどんな関わりがあるのです。私の時はまだ来ていません。」(ヨハネ 2・1-4)

イエスの時ではなく、マリアの時です。マリアの時はすでに来ており、マリアはいつも わたしたちの傍におられます。

マリアよ、わたしはあなたの心の扉を叩きます。あなたがわたしのためにイエスと呼んでくださると知っているからです。

### 第3の玄義 神の国を告げ始める

また、別のたとえを彼らに示して言われた。「天の国は、からし種に似ている。人がこれを取って畑に蒔くと、どんな種よりも小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる。」(マタイ 13・31-32)

イエスは神の国と命を浮き彫りにされます。その命は神の命そのものです。

わたしのうちに宿るこの命を信じましょう。命は聖霊に支えられて開花するでしょう。

その力に身を委ねましょう。

#### 第4の玄義 主のご変容

イエスは、ペトロ、それにヤコブとその兄弟ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。すると、彼らの目の前でイエスの姿が変わり、顔は太陽のように輝き、衣は光のように白くなった。見ると、モーセとエリヤが現れ、イエスと語り合っていた。(マタイ 17・1-3)

イエスが祈っておられた時、ペトロと仲間は主の栄光を見ました。イエスは神の御子です。父の愛のうちに浸る子ども、これがイエスの祈りです。わたしたちも神の使命に与った神の子ですから、神の命によって変容されなければなりません。

イエスよ、めぐみによって、あなたに似た者となりますように。

#### 第5の玄義 聖体の秘跡の制定

主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りを献げてそれを裂き、言われました。「これは、あなたがたのための私の体である。私の記念としてこのように行いなさい。(I コリント 11・23-24)

イエスが制定されたこの秘跡は大河です。すべてのキリスト者、そして教会が渴きを潤しにやってくる大河です。イエスをご自分の命、つまり神の命を与え、わたしたちを、ご自分のすべてに与るものとしてくださいました。キリストの神秘体の命のすべて、その命がもたらす光と、終わりの日にもたらされる愛のすべて、それがご聖体から流れ出るのです。

イエス、感謝します。あなたはわたしの愛に ご自分を捧げてくださいました。

聖書 新共同訳:

(c) 共同訳聖書実行委員会

Executive Committee of The Common Bible Translation

(c) 日本聖書協会

Japan Bible Society, Tokyo 1987, 1988